

## 原子力施設の耐震安全性に係る 新たな科学的・技術的知見の継続的な収集及び評価への 反映等のための取組について（報告）

平成28年4月22日  
北陸電力株式会社

当社は、本日（4月22日）、「原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集及び評価への反映等のための取組について（報告）」を原子力規制委員会に提出しましたので、お知らせいたします。

これは、旧原子力安全・保安院の指示「原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集及び評価への反映等のための取組について」（平成21年5月8日）に基づき、毎年、前年度の耐震安全性に係る知見の収集・評価の取組状況について、翌年度4月末までに原子力規制委員会に報告しているものです。

今回、平成27年度に公表されている国の機関等の報告、関連学会・協会等の大会報告・論文等について、幅広く情報を収集・分析し、原子力施設への適用範囲・適用条件、耐震安全性評価への反映の要否の観点から、「新知見関連情報<sup>※2</sup>」として2件を抽出し報告いたしました。

当社としては、引き続き、科学的・技術的知見を収集・分析し、必要に応じて志賀原子力発電所の耐震安全性向上の取組みに反映してまいります。

### <今回報告した情報>

反映が必要な 新知見情報 <sup>※1</sup>	新知見関連情報 <sup>※2</sup>	計
0件	2件	2件

以上

#### ※1 反映が必要な新知見情報

耐震安全性評価及び耐震裕度の評価への反映が必要な情報（現状評価の見直しの必要性があるもの）

#### ※2 新知見関連情報

新たな知見ではあるが、耐震安全性評価の再評価（現状評価の見直し）が必要ない情報

原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集  
及び評価への反映等のための取組について(報告)の概要

1. 概要

- ・ 当社は、電力各社とも連携しながら、耐震安全性に関連する可能性がある、国の機関等の報告、関連学会・協会等の大会報告・論文等について、幅広く情報を収集。
- ・ 平成 27 年度に公表された原子力施設の耐震安全性に係る文献等など約 35,000 件を収集・整理し、新知見情報となる可能性がある文献等を抽出した結果、「反映が必要な新知見情報」は 0 件、「新知見関連情報」は 2 件として報告した。

2. 「新知見関連情報」の内容

下記 2 件の情報は、客観的な根拠・関連するデータ等の蓄積された新たな知見を含むものの、志賀原子力発電所の耐震安全性評価の再評価が必要ない情報（現状評価の見直しが必要でないもの）であり、「新知見関連情報」として報告した。

情報名	著者	主な内容
① 日本海地震・津波調査プロジェクト 平成26年度成果報告書	文部科学省研究開発局、国立大学法人東京大学地震研究所	富山湾西側海域に新たな断層が示された
② 1:25,000都市圏活断層図 砺波平野断層帯とその周辺「高岡」	国土地理院	砺波平野断層帯の周辺に新たに高岡断層及び射水断層が示された

※ 情報には、志賀原子力発電所固有の「個別情報」と、電力大に共通する「共通情報」があるが、今回報告した 2 件はいずれも「個別情報」である。

以 上